

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療総合学科	科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	医療学概論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年	学期及び曜時間	前期	教室名	406
担 当 教 員	加藤 智久・糸賀亜美	実務経験とその関連資格	臨床工学技士として病院で勤務 言語聴覚士として障害児施設のリハビリテーションの実務経験あり		

《授業科目における学習内容》

医療の歴史を知り、現代医療の課題を学ぶ。
さらに臨床の場で実施される蘇生法と救急措置(一時救命、吸引、呼吸リハビリテーション)を学び、普通救命講習を終了する。

《成績評価の方法と基準》

1、定期試験または実技試験;70% 2、出席評価点:20% 3、平常点(授業態度・レポート):10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

新 医療秘書医学シリーズ 医療概論 建帛社

《授業外における学習方法》

資料を見直し、要点と手技を繰り返し復習する。

《履修に当たっての留意点》

患者の状態把握やリスク管理は非常に重要であり、必要な手技を正確に覚えること。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	医療の成り立ちについて理解し説明できる 古代医療の成り立ちを学ぶ	教科書資料	事前に教科書を読んでおくこと
			世界医療の歴史について理解し説明できる 世界医療の歴史について学ぶ		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	日本医療の歴史について理解し説明できる 日本医療の歴史について学ぶ	教科書資料	事前に教科書を読んでおくこと
			近代医療制度について理解し説明できる 近代医療制度(保険医療制度や国民皆保険)について学ぶ		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	現代医療の課題について理解し説明できる 国民医療費、現代医療の課題	教科書資料	事前に教科書を読んでおくこと
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定		教科書資料	事前に教科書を読んでおくこと
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定		教科書資料	事前に教科書を読んでおくこと

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	保険診療と自由診療について理解でき説明できる 保険診療と診療保障制度、自由診療・混合診療と保険外併用療養費	教科書資料	事前に教科書を読んでおくこと
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	現代の医療について理解し説明できる 日本や世界の医療制度について学ぶ	教科書資料	事前に教科書を読んでおくこと
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	バイタルチェックの方法と手技を理解して、実施できる。 バイタルチェックの方法と内容	教科書 血圧計、パルスオキシメーター、聴診器	事前に教科書を読んでおくこと
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	疾患ごとの急変予測を理解することができる 疾患ごとの急変予測①	教科書	事前に教科書を読んでおくこと
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	疾患ごとの急変予測を理解することができる 疾患ごとの急変予測②	教科書	事前に教科書を読んでおくこと
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	医療機器の種類と見方を理解することができる 医療機器の種類と見方	教科書	事前に教科書を読んでおくこと
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	心肺蘇生法について理解できる① 心肺蘇生法、AEDの使用方法、気導異物除去	教科書	事前に教科書を読んでおくこと
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	心肺蘇生法について理解できる② 心肺蘇生を一連の流れで実施できる。	教科書	事前に教科書を読んでおくこと
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	普通救命講習を修了すること 日本赤十字社 基礎講習受講	教科書、救命講習のシミュレーター	事前に教科書を読んでおくこと
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	普通救命講習を修了すること 日本赤十字社 基礎講習受講	教科書、救命講習のシミュレーター	事前に教科書を読んでおくこと